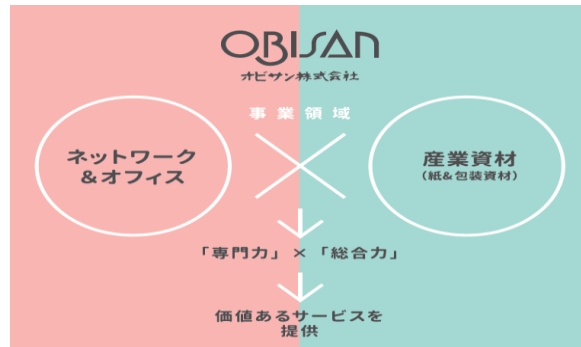


## 年頭の挨拶

2020年元旦  
社長 小嶋寛之

皆様 新年明けましておめでとうございます。

今年は頭から、事業内容について触れたいと思います。  
当社事業は二つの領域があります。近年、二つの「丸」で表しています。



一つは「産業資材」で、食品・医薬品、農工業生産品の包装・出荷資材や印刷用紙の販売です。一つは「ネットワーク&オフィス」で、オフィスや建築施設の事業環境をソフト・ハード両面でデザインし、また機器の設定や保守メンテナンス、システム・ソフトウェア開発など、情報通信技術(ICT)サービスを提供します。

包材、印刷用紙などの産業資材は、いっそう国際化する環境規制への適合が、当たり前のもので求められます。例えば製造時の環境負荷が低く、製品安全性・リサイクル性が高い包装材を取り扱えるのが、商品提案の大前提です。印刷用紙については、森林リサイクルの仕組みに立脚する森林管理協議会(FSC)認証紙を当社は2008年より販売していますが、FSC認証紙が普通に流通し、使われる時代となっています。

ネットワーク&オフィスはオフィスICTサポートの機能を強化推進します。オフィスや施設環境は、未来へのイノベーションを生み出す場として常に進化すべきものです。私たちは現場の要望に沿い、オーダーメイドの提案し、商品・サービスを提供いたします。

この二つの事業領域のそれぞれにおいて、そして二つの「丸」が交わる形で「専門力× 総合力」を発揮し、お客さまに価値あるサービスを提供してまいります。是非とも、過去から積み上げた成熟領域を守りつつ、未来に向けての成長領域を拡大させていきたいと思ひます。

この2020年、経営のキーワードは「人権・環境・危機管理」ではないかと考えました。私として、意識して取り組んでいきたいと思ひます。

勤労条件、職場環境に関しては、皆様一人一人が力を発揮するための制度整備を続けます。賃金を筆頭に、仕事に励む気持ちを向上していただける経営努力が非常に重要な局面と考えます。

本年も、社内外オビサンとゆかりのある皆さまのご健康とご多幸を心より祈念申し上げます。

以上